

安全データシート

ベンゼンスルホンアミド

改訂日: 2024-01-24 版番号: 1

1. 化学品及び会社情報

製品識別子

製品名 : ベンゼンスルホンアミド
CB番号 : CB4200738
CAS : 98-10-2
同義語 : ベンゼンスルホンアミド

物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途 : 染料中間体
推奨されない用途 : なし

会社ID

会社名 : Chemicalbook
住所 : 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟
電話 : 010-86108875

2. 危険有害性の要約

GHS分類

分類実施日

GHS改訂4版を使用

H25.9.19、政府向けGHS分類ガイダンス(H25.7版)を使用

健康に対する有害性

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1 (膀胱)、区分2 (肝臓、腎臓、肺)

ラベル要素

絵表示又はシンボル

GHS07

注意喚起語

警告

危険有害性情報

飲み込むと有害

注意書き

[安全対策]

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

取扱い後は手や顔をよく洗うこと。

[応急措置]

飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。

[廃棄]

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質 / 混合物の区別:	: 化学物質
化学名又は一般名:	: ベンゼンスルホンアミド
濃度又は濃度範囲:	: >98.0%(N)
CAS RN:	: 98-10-2
化学式:	: C ₆ H ₇ NO ₂ S
官報公示整理番号 化審法:	: (3)-3130
官報公示整理番号 安衛法:	: 公表化学物質

4. 応急措置

吸入した場合:

は、医師の診断、手当てを受けること。

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時

皮膚に付着した場合:

受けること。

ワで洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。皮膚を流水、シャ

目に入った場合:

で洗うこと。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外し

飲み込んだ場合:

気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。

応急措置をする者の保護:

救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤:

粉末, 泡, 水噴霧, 二酸化炭素

火災時の特定危険有害性:

燃焼や高温により分解し、有毒なヒュームを発生する恐れがあるので注意する。

特有の消火方法:

消火作業は、風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。関係者以外は安全な場所に退去させる。周辺火災時、移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

消火を行う者の保護:

消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

る。

漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止す

漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。

個人用保護具を着用する。

環境に対する注意事項:

製品が排水路に排出されないよう注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材:

付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。

粉塵の飛散に注意しながら掃き集め、密閉容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:

取扱いは換気のよい場所で行う。適切な保護具を着用する。粉塵が飛散しないように注意する。取扱い後は手や顔などをよく洗う。

注意事項:

粉塵やエアゾールが発生する場合には、局所排気を用いる。

安全取扱い注意事項:

皮膚、眼および衣類との接触を避ける。

保管

適切な保管条件:

容器を密栓して冷暗所に保管する。酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。

安全な容器包装材料:

法令の定めるところに従う。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策:

作業者が直接暴露されないように、できるだけ密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。

管理濃度:

設定されていない。

保護具

呼吸用保護具:

防塵マスク、簡易防塵マスク等。

手の保護具:

保護手袋。

眼、顔面の保護具:

保護眼鏡。状況に応じ保護面。

皮膚及び身体の保護具:

保護衣。状況に応じ、保護長靴。

9. 物理的及び化学的性質

Information on basic physicochemical properties

形状	固体
色	情報なし
臭い	情報なし
臭いのしきい(閾)値	情報なし
pH	情報なし
情報なし	
情報なし	
情報なし	
log Kow=0.31:GESTIS(2013)	
水: 4300mg/L(16℃)(実測値):NITE(2013)	
情報なし	
情報なし	
0.000894mmHg:NITE(2013)	
情報なし	
情報なし	
情報なし	
250℃:NITE(2013)	
情報なし	
156℃:NITE(2013)	

融点・凝固点

156℃:NITE(2013)

沸点、初留点及び沸騰範囲

情報なし

引火点

250℃:NITE(2013)

蒸発速度(酢酸ブチル=1)

情報なし

燃焼性(固体、気体)

情報なし

燃焼又は爆発範囲

情報なし

蒸気圧

0.000894mmHg:NITE(2013)

蒸気密度

情報なし

比重(相対密度)

情報なし

溶解度

水: 4300mg/L(16℃)(実測値):NITE(2013)

n-オクタノール/水分配係数

log Kow=0.31:GESTIS(2013)

自然発火温度

情報なし

分解温度

情報なし

粘度(粘性率)

情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性:

情報なし

化学的安定性:

適切な条件下においては安定。

危険有害反応可能性:

特別な反応性は報告されていない。

避けるべき条件:

情報なし

混触危険物質:

酸化剤

危険有害な分解生成物:

二酸化炭素, 一酸化炭素, 窒素酸化物, 硫酸酸化物

11. 有害性情報

急性毒性**経口**

データ不足のため分類できない。

経皮

データ不足のため分類できない。

吸入:ガス

GHSの定義における固体である。

吸入:蒸気

GHSの定義における固体である。

吸入:粉じん及びミスト

データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

データ不足のため分類できない。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

データ不足のため分類できない。

呼吸器感作性

呼吸器感作性:データ不足のため分類できない。

皮膚感作性

皮膚感作性:データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性

データ不足のため分類できない。すなわち、**in vivo**データはなく、**in vitro**では、細菌の復帰突然変異試験、哺乳類培養細胞の染色体異常試験で陰性である (厚労省既存化学物質毒性データベース (Access on September 2013))。

発がん性

データ不足のため分類できない。

生殖毒性

データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

ラットに28日間強制経口投与した試験において、区分1に該当する用量 (9.3 mg/kg/day (90日換算)) で膀胱への影響 (移行上皮の過形成) が、区分2に該当する用量 (46.7 mg/kg/day (90日換算)) で肝臓 (重量増加、小葉中心性肝細胞肥大、血中ALT活性の高値)、腎臓 (重量増加、腎乳頭・腎盂上皮の鉍質沈着、血中尿素窒素の高値) 及び肺 (肺胞中隔の鉍質沈着) への影響がみられた (厚労省既存化学物質毒性データベース (Access on September 2013))。肝臓の小葉中心性肥大は雌雄とも全例で発現しており、雄ではALT活性の増加 (対照群の2.4倍) を伴っていた。また、腎臓及び肺の鉍質沈着も、著者らによれば自然発生的な変化ではなく、血中での鉍質代謝異常を反映したものと考察されており、ヒトでも同様の変化が生じた場合には腎臓及び肺に機能障害をきたす可能性が考えられる。以上より、区分1 (膀胱)、区分2 (肝臓、腎臓、肺) とした。

吸引性呼吸器有害性

データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性:

魚類:

48h LC50:440 ppm (Oryzias latipes)

甲殻類:

情報なし

藻類:

情報なし

残留性・分解性:

0 % (by BOD) , 3 % (by TOC) , 1 % (by UV-VIS) * 既存化学物質安全性点検による判定結果: 難分解性

生体蓄積性(BCF):

0.39 - 1.2 (conc. 2 ppm) , 3.8 - 5.8 (conc. 0.2 ppm) * 既存化学物質安全性点検による判定結果: 低濃縮性

土壌中の移動性

オクタノール/水分配係数:

0.31

土壌吸着係数(Koc):

情報なし

ヘンリー定数(PaM 3/mol):

4.27 x 10⁻²

オゾン層への有害性:

情報なし

13. 廃棄上の注意

処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。

却炉で焼却する。

焼却処理する場合には、可燃性溶剤に溶解または混合した後、アフターバーナー及びスクラバーを備えた焼

却炉で焼却する。

適切な保護具を着用する。

14. 輸送上の注意

国連番号:

該当なし。

国連分類:

国連の分類基準に該当せず。

輸送の特定の安全対策及び条件:

積み込み、荷崩れの防止を確実にし、法令の定めるところに従う。

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように

15. 適用法令

16. その他の情報

略語と頭字語

TWA: 時間加重平均

STEL: 短期暴露限度

RID: 鉄道による危険物の国際運送に関する規則

LD50: 致死量 50%

LC50: 致死濃度 50%

IMDG: 国際海上危険物

IATA: 国際航空運送協会

EC50: 有効濃度 50%

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

